

作成日：2026/2/16

改定日：2026/2/20

安全データシート

JIS Z7253：2019に準拠

1. 製品および会社情報

製品名：加煙試験器ALKS3【楽エコ】発煙剤 n-パラフィン(C12-15)
提供者
会社名：アークリード株式会社
住所：〒551-0002 大阪府大阪市大正区三軒家東1-1-4
担当部局：商品開発
電話番号：06-6556-0933
FAX番号：06-6556-0931
緊急連絡先電話番号：06-6556-0933
推奨用途及び使用上の制限：加煙試験器ALKS3専用発煙剤

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理的危険性	引火性液体	: 区分4
健康有害性	急性毒性(経口/経皮/吸入(ミスト))	: 区分に該当しない
	皮膚腐食性/皮膚刺激性	: 分類できない
	目に対する重篤な損傷性/眼刺激性	: 区分に該当しない
	呼吸器感作性/皮膚感作性	: 分類できない
	生殖細胞変異原性	: 分類できない
	発がん性	: 分類できない
	生殖毒性	: 分類できない
	特定標的臓器毒性(単回ばく露/反復ばく露)	: 分類できない
	誤えん有害性	: 区分1
環境有害性	水生環境有害性 短期(急性)/長期(慢性)	: 分類できない
	オゾン層への有害性	: 分類できない

GHSラベル要素

絵表示

:



(誤えん有害性)

注意喚起語

: 危険

危険有害性情報

物理的特性 : 可燃性液体(H227)

健康有害性 : 飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ(H304)

注意書き

安全対策 : 熱、高温のもの、火花、裸火及び他着火源から遠ざけること。禁煙。(P210)
保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。(P280)

応急措置 : 飲み込んだ場合 : 直ちに医師に連絡すること。(P301+P310)
無理に吐かせないこと。(P331)
火災の場合 : 消火するために、泡消火剤、粉末消火剤あるいは、炭酸ガスを使用すること。(P370+P378)

保管 : 換気の良い場所で保管すること。(P403)
施錠して保管すること。(P405)

廃棄 : 内容物/容器を法規制に従って廃棄すること。(P501)

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区分 : 化学物質

化学名または一般名 : n-パラフィン(C12~15)

Paraffins(petroleum),normal C>10 CAS RN:64771-71-7

成分情報

化学名または一般名	n-ドデカン	n-トリデカン	n-テトラデカン
化学式 (示性式)	CH ₃ -(CH ₂) ₁₀ -CH ₃	CH ₃ -(CH ₂) ₁₁ -CH ₃	CH ₃ -(CH ₂) ₁₂ -CH ₃
含有量・濃度 (重量%)	5~15 %	45~65 %	15~35 %
CAS RN	112-40-3	629-50-5	629-59-4
国によるGHS分類	引火性液体:区分4 誤えん有害性:区分1	—	—

日本法令に基づく成分情報

官報公示整理番号(化審法) : (2)-10 (アルカン C=10~29として)

官報公示整理番号(安衛法) : — (化審法で公表)

労働安全衛生法 57条、表示対象物質 : 該当 (ノルマル-ドデカンとして)

労働安全衛生法 57条の2、通知対象物質 : 該当 (ノルマル-ドデカンとして)

化学物質排出把握管理促進法(PRTR法)指定化学物質 : 対象物質なし。

4. 応急処置

吸入した場合 : 被災者を直ちに新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させ、気分が悪い時は医師に連絡すること。

呼吸障害、めまい、吐き気が起きたり、意識不明の状態に陥った場合は、直ちに医師の診断/治療を受けること。

呼吸が停止した場合は、救助員が当該物質にばく露しない様にした上で、酸素吸入や人工呼吸などの救急救命処置を行うこと。

皮膚に付着した場合 : 付着物を布等で素早くふき取り、大量の水と石鹼で優しく洗うこと。
気分が悪い時は医師に連絡すること。

当該物質が皮下または体内に注入された場合、傷の外観等に関係なく、直ちに医師の診断及び緊急処置を受けること。

眼に入った場合 : 大量の水で15分間以上注意深く洗うこと。
コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。
眼刺激が続く場合は、医師の診断/治療を受けること。

飲み込んだ場合 : 直ちに医師の診断/治療を受けること。
無理に吐かせてはならない。

応急措置をする者の保護等 : 適切な保護具を着用すること。
関係者以外の立ち入りを禁止すること。

急性症状及び遅発性症状の最も重要な兆候症状 : 皮膚への反復暴露により、皮膚から脂肪が除去され、軽度の痛み、皮膚炎を起こす事がある。
ミストあるいは、加熱により発生した蒸気にばく露すると、眼、呼吸器に刺激を与えることがある。

医師に対する特別な注意事項 : 特になし。

5. 火災時の措置

適切な消火剤 : 泡消火剤、粉末消火剤、炭酸ガス。

使ってはならない消火剤 : 棒状注水。

特有の危険有毒性

火災危険性物質 : 燃焼性。加熱により、可燃混合物を生成し、引火燃焼する可能性がある。

有害燃焼生成物 : 不完全燃焼時の生成物、一酸化炭素、煙、煙霧。

特有の消火方法 : 適切な消火剤を用いて、可能な限り風上から行うこと。

可能な場合は、漏出(燃焼源の供給)を停止させること。

周辺火災で移動可能な場合は、容器ごと安全な場所に移動すること。

消火剤やその希釈剤が水路や下水等へ流出することを防止すること。

消火を行う者の保護等 : 適切な保護具(空気呼吸器、耐熱性防護服等)を着用すること。

火災発生場所周辺への関係者以外の立ち入りを禁止すること。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置 : 漏出物には触らないこと。

可能な場合は、漏出(流出拡大)を停止させること。

全ての着火源を速やかに取り除くこと(近傍での喫煙、火花、火炎の禁止)。

着火した場合に備えて、適切な消火用機材を準備すること。

漏出場所周辺は適切な距離で隔離し関係者以外の立ち入りを禁止すること。

漏出時の処置を行う際は、状況に応じて適切な保護具を着用すること。
特に、密閉された場所の場合は、空気呼吸器を着用すること。
こぼれた場所は滑りやすいため注意すること。

環境に対する注意事項：流出した当該物質が河川等に排出され環境への影響を起ささないように適切な対応処置を行うこと。

封じ込め及び浄化方法/機材等：少量の場合、おがくず、ウエス、砂等に吸収させて回収すること。
大量の場合、土砂等で流れを止め、速やかに容器に回収すること。
その際、生じた全ての廃棄物は、廃棄処分が済むまで密閉可能な廃棄容器等に回収し、関連法規並びに地方自治体の基準に従い廃棄処分すること。

二次災害の防止策：漏出した場所の付近から、全ての着火源を速やかにとり除くと共に、適切な消火用器材を準備すること。
漏出が大量で影響が広範囲に及ぶ場合は、関係官庁や周辺住民に通報/連携し、避難等を含め適切な対応措置を行うこと。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い上の注意事項

技術的対策：労働安全衛生法、消防法等の基準に従うこと。

取扱い注意事項：当該物質は静電気を蓄積することがある。
使用する機器材、設備等の静電対策は確実にすること。
周辺の着火源を取り除くこと(近傍での喫煙、火花、火炎の禁止)。
当該物質の取扱いは、換気のよい場所で行うか、局所排気下で行うこと。
保護眼鏡、保護衣、保護手袋等の適切な保護具を着用すること。
取扱い時に、漏れ、あふれ、飛散のないようにすること。
容器から取り出す時は、容器内圧に注意し、作業後は容器を密閉すること。
取扱い場所の近くに緊急時に洗眼/身体洗浄を行う為の設備を設置すること。

接触回避：強酸化剤、ハロゲン、強酸、強アルカリ、高温の硫黄。

保管上の注意事項

技術的対策：労働安全衛生法、消防法等の基準に従うこと。

保管条件：換気の良い場所で、施錠して保管すること。
保管容器は密閉して、直射日光の当たらない冷暗所に保管すること。
静電気対策を確実にすると共に、火気、熱源は取り除くこと。

容器包装材料：消防法及び高圧ガス保安法等で規定されている容器を使用すること。

8. ばく露防止及び保護措置

ばく露防止

管理濃度 ばく露限界値(管理濃度：厚生労働省)：未設定

許容濃度 ばく露限界値(日本産業衛生学会：2023年版)：未設定

ACGIH(2015年版) TLV-TWA：未設定

軽減するための設備対策	: 全体換気装置または局所排気装置を備えた設備で取扱うこと。 取扱い場所の近くに洗眼及び身体洗浄の為の設備を設けること。
保護措置	
呼吸用保護具	: 送気マスク、空気呼吸器等
手の保護具	: 耐溶剤性/耐油性保護手袋等
目の保護具	: 保護眼鏡または保護面(全面型)
皮膚及び身体の保護具	: 保護衣(耐溶剤性/耐油性作業衣)、保護前掛け、保護長靴等
衛生対策	: 取扱い後は水と石鹼で手を良く洗うこと。 汚染した衣服は脱ぎ、再使用する場合は洗濯すること。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態(外観)	: 液体
色	: 無色透明
臭い	: ほとんど無臭
融点/凝固点	: -5°C
沸点	: 220.0~275.0°C
可燃性	: 引火性の液体
爆発範囲/可燃限界(vol%)	: 下限:0.7vol% 上限:5.5vol%
引火点	: $\geq 90.0^{\circ}\text{C}$
自然発火点	: 210°C
分解温度	: データなし
pH	: 適用外
動粘性率	: $\leq 20.5\text{cSt}$ ($\leq 20.5\text{mm}^2/\text{sec}$) @40°C
溶解度	: 水に不溶、有機溶媒に可溶
水溶性	: 無視できる(0.05g/L)
n-オクタノール/水分配計数(Log値)	: データなし
蒸気圧	: 1hPa
密度/相対密度	: 0.7550-0.7650g/cm ³ @15°C
相対ガス密度	: 6.5 @101kPa (空気=1.0)
粒子特性	: 適用外

10. 安定性及び反応性

反応性	: 通常状態では反応性はない。
化学的安定性	: 通常状態では安定。
危険有害反応可能性	: 危険有害性のある重合/反応は起きない。
避けるべき条件	: 高温、長時間の加熱、着火源、高エネルギー発火源。
混触危険物質	: 強酸化剤、ハロゲン、強酸、強アルカリ、高温の硫黄。
危険有害な分解生成物	: 常温では分解しない。

1 1. 有害性情報

急性毒性(経口)	: LD50 ATEmix: > 5,000mg/kg (区分に該当しないとした)
急性毒性(経皮)	: LD50 ATEmix: > 2,000mg/kg (区分に該当しないとした)
急性毒性(吸入(ミスト))	: LD50 ATEmix: > 5mg/kg (区分に該当しないとした)
皮膚腐食性/皮膚刺激性	: データなし
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	: 眼刺激指数(MMAS):2/110 (区分に該当しないとした)
呼吸器感作性/皮膚感作性	: データなし
生殖細胞変異原性	: データなし
発がん性	: データなし
生殖毒性	: データなし
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	: データなし
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	: データなし
誤えん有害性	: 炭化水素液体 動粘性率:< 20.5mm ² /s(40°C) (区分1とした)

1 2. 環境影響情報

生態毒性	: 十分な知見はない。
残留性・分解性	: 生物分解は易分解性で加水/光分解による変化は少ないと予測。
生体蓄積性	: 生態蓄積の可能性は有るが、代謝/物性等で濃度低下すると予測。
土壌中の移動性	: 揮発性が非常に高く速やかに空気中に拡散するが、揮発しない 残存物は溶解度が低く汚泥/汚水固形物として分離すると予測。
オゾン層への有害性	: オゾン層への有害性は予測されない。
その他環境影響(生態学的)情報	: VOC(揮発性有機化合物)に該当。

13. 廃棄上の注意

残余物の廃棄	: 廃棄する場合は、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。
汚染容器及び包装の廃棄	: 廃棄する場合は、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。 使用した容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

1 4. 輸送上の注意

国際規制	
国連勧告(UN RTDG)	: データなし
MARPOL 73/78付属書II及びIBCコードによるばら積み輸送される液体物質	: 物質名:n-Alkanes(C10-C20) 汚染分類:Y
国内規制	
陸上輸送	: 消防法、労働安全衛生法、道路交通法等に従うこと。
海上輸送	: 港湾法、船舶安全法等に従うこと。
航空輸送	: 航空法等に従うこと。

1 5. 適用法令

労働安全衛生法	: 表示対象物質/通知対象物質（ノルマル-ドデカンとして）
毒物及び劇物取締法	: 該当しない。
消防法	: 第4類 引火性液体、第三石油類、非水溶性液体、危険等級Ⅲ
船舶安全法	: 該当しない。
港則法	: 該当しない。
航空法	: 該当しない。
道路運送車両法	: 危険物
海洋汚染防止法	: ノルマルアルカン(炭素数が十から二十までのもの及びその混合物に限る。)
水質汚濁防止法	: 鉱油類(ノルマルヘキサン抽出物)排出規制
化学物質排出把握管理促進法(PRTR法)	: 対象物質なし。

1 6. その他情報

参考文献/情報等	: 厚生労働省 職場のあんぜんサイト GHS対応モデルラベル・モデルSDS情報 総務省 消防庁 危険物災害等情報支援システム 経済産業省 GHS混合物分類判定システム 独立行政法人 製品評価技術基盤機構(nite) 政府による分類結果 国立研究開発法人 国立環境研究所 化学情報データベース 国際労働機関(ILO) 国際化学物質安全性カード(ICSCデータベース) ChemIndex.com 化学CASデータベースサービス 等
----------	--

<記載内容・免責条項について>

当該シートに記載している内容は、当社が信頼できる各種文献/情報に基づいて作成していますが、その情報の正確性について保証するものではありません。

当該シートは、あくまで当社が入手可能な情報をお客様に提供するものであり、当該物質の取扱い、使用、保管、廃棄については、お客様自身が責任を持って行って下さい。